

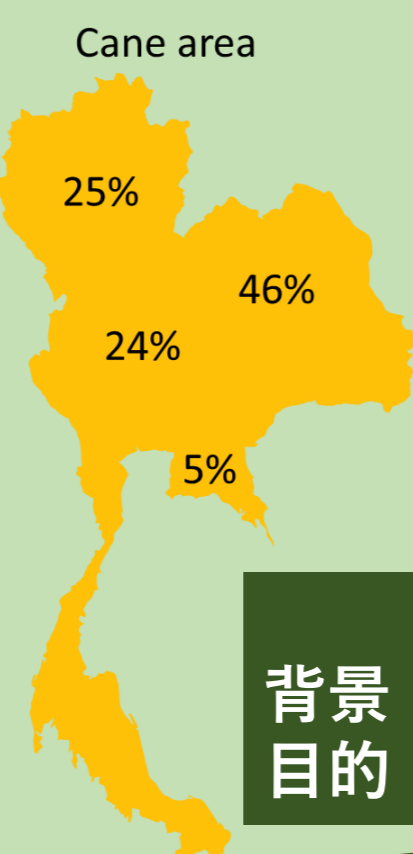
農学研究活動 (サトウキビの研究)

温室での実験



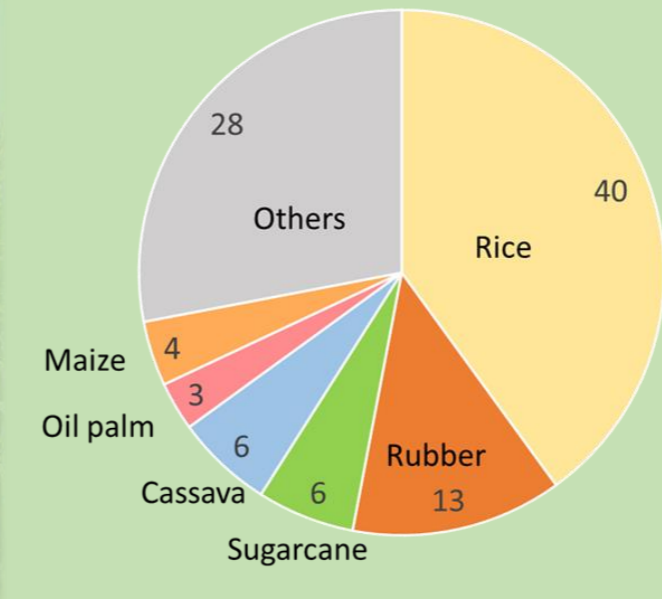
研究室での解析

圃場での実験



タイのサトウキビ栽培状況
生産量 世界第4位
輸出量 世界第2位

150万人が従事
20万が小規模農家



研究内容について

背景：干ばつによって収量が大きく減少する
目的：耐乾性メカニズムを生理学的・解剖学的に解明する

研究活動で苦労したこと

- ▶ 渡航前の話し合いが不十分であり、計画の大幅な変更があった。
- ▶ タイの季節変化を調べていなかった。
- ▶ 異常気象の影響を受け、スケジュールがずれた。

研究を円滑に行うために工夫したこと



↑ 国際学会での口頭発表

↑ 研究者集会への参加



↓ 研究施設の訪問

↓ 研究ネットワークを広げる

タイ文化を知る

タイあるある

- ▶ 野良犬に追いかける
- ▶ 料理をしない(屋台文化)
- ▶ 値段交渉
- ▶ シャワーを一日に何度も浴びる
- ▶ 歩かない
- ▶ 常に何か食べている
- ▶ お茶が甘い
- ▶ 甘い辛い
- ▶ タンブン(托鉢)



タイ通検定

- ▶ 語末にka (タイ語の"です", "ます")
- ▶ 合掌"ワイ"
- ▶ 微笑み
- ▶ 雨で喜ぶ
- ▶ ヤードムユーザー
- ▶ コーラ中毒
- ▶ 会計手首回しの術
- ▶ お箸を使わない
- ▶ 野良犬になつかれる
- ▶ ニックネームを持つ
- ▶ ビールに氷を入れる



↑ 大学大麻の研究

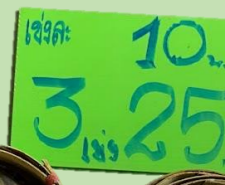
← チョンプー・パンティップ

↑ タイのサンタ

便利なタイ語

- ▶ サワディー (こんにちは)
- ▶ シャイ・マイシャイ (はい・いいえ)
- ▶ コップン (ありがとう)
- ▶ コートー (すみません)
- ▶ マイペンライ (大丈夫)
- ▶ タウライ (いくら?)
- ▶ アロイ (おいしい)
- ▶ バイ (行く)
- ▶ ティーナイ? (どこ?)
- ▶ ダイマイ? (できる?)

↓ もち米



タイの年間イベント

- ▶ 1月：中国正月 Chinese New Year
- ▶ 4月：ソンクラン (旧正月水かけ祭り)
- ▶ 5月：ロケット祭り (雨を乞う)
- ▶ 11月：ロイクラトン祭り (灯籠流し)

日本文化を伝える

日本文化を共有する第一歩

- ▶ 日本のお土産を持っていく
- ▶ インスタントのお味噌汁
- ▶ 緑茶ティーバッグ
- ▶ 日本のお菓子
- ▶ 日本のポストカード、絵はがき
- ▶ 京都で集めた日本の小物
- ▶ 持っていけばよかったと後悔したもの
- ▶ 鹿児島大学のグッズ
- ▶ 梅酒・焼酎



↑ 大学の日本語の授業にて 鹿児島を紹介、習字を教える

← タイの"生徒の日" 小学生に折り紙を教える

盛り上がった話題

- ▶ 日本の観光地 (東京・京都のお勧め観光地をよく聞かれる)
- ▶ 居酒屋 (日本人は呑みながら話すのが好き、海外では音楽に合わせて踊るのが一般的? そもそも音楽が大音量なので話せない)
- ▶ 食事マナー (麺類をすする音、全員揃うまで待つ)
- ▶ 日本人の恋愛観 (日本人の男子は海外でよくモテていました。付き合うまでの一般的な流れ、国によって女の子が積極的か受け身が大きく異なる。LGBTQ+などのセンシティブな話もたまにある。)
- ▶ 将来の話
- ▶ アルバイトの話 (タイ人学生はあまりアルバイトをしない。)

留学を振り返って

タイで得られた価値観

タイには「マイペンライ精神」というものが存在しており、日本人の私の感覚からすると「絶対大丈夫じゃないでしょ」と思うようなトラブルが起こっても、笑いながら「マイペンライ(大丈夫)」と言います。その光景がとても可笑しく、深刻に受け止めていた自分が馬鹿らしくなります。そのような場面に何度も出くわすうちに、私が如何に物事を深刻に捉える癖があったのか気付かされました。例えば日本人は時間厳守ですが、タイ人は必ずしもそうとは限りません。相手が約束の時間に大幅に遅れると待ちくたびれることもありますが、笑顔で「大丈夫だよ」というのがマナーです。タイ人は何があっても絶対に怒りません。留学生活の中でタイ人の価値観に触れ、物事を楽観的に捉えられるようになり、また寛容になりました。

留学を通して変わった日本の見方

留学先では日本文化を褒められ、日本を見直す機会が多くありました。日本を出て気付いた日本の良さが想定外に多く、日本人であることに誇りを持つようになりました。以下に日本の良さを挙げます。

国民性

- ▶ 信頼できる(時間や約束を守る)
- ▶ 思いやりがある(周囲への気配り)

その他

- ▶ 治安が良い
- ▶ 技術力の高さ(インフラ)
- ▶ 接客の態度(サービス精神)

外国での振る舞いは、周囲に日本人の印象を少なからず与えます。日本人を代表するという責任感を感じすぎる必要はありませんが、日本の国民性がチラッと出たときに感心されることは意外に多いかもしれません。

太平洋戦争中に旧日本軍によって建設されたタイとミャンマーをつなぐ鉄道→



← 使用していた大学の研究棟は日本政府によって建設されたもの



本留学に際してJASSOの海外留学奨学金を賜りました。また、事前準備から帰国するまで鹿児島大学留学生係の方々、担当教員、現地の先生方、家族や友達などたくさんの方に支えていただき感謝申し上げます。